

-노라고

精一杯~したつもりだが（結果は及ばない）

自分なりに努力したが結果が伴わなかったと述べる文語です。謙遜の言い回しになります。

■ つけ方

状況	形	例
動詞	-노라고	하다 → 하노라고
パッチム	関係なし	쓰노라고
よく使う形	하노라고 했는데	精一杯やったが
後ろ	不十分な結果	부족하다・모자라다 など
一人称のみ	主語は 나・저	自分の弁明
近い形	-답시고	他人への皮肉

■ -답시고 どう違うか

自分の努力不足を認めます。하노라고 했는데 부족했습니다（精一杯やったつもりですが足りませんでした）。

謙遜の表現です。「自分なりに頑張ったが至らなかった」と述べる形。日本語の「したつもりですが」に近い謙譲の調子です。

답시고 とは主語が逆です。-답시고 は他人への皮肉、-노라고 は自分の弁明。形が似ていますが向きが正反対なので注意します。

文語です。あらたまった場面やスピーチで使われ、日常会話では -느라고 했는데 などが自然です。

■ 例文

- 1

하노라고 했는데 결과가 신통치 않습니다.
精一杯やったつもりですが、結果は思わしくありません。
- 2

준비하노라고 했지만 부족한 점이 많았다.
準備したつもりでしたが、足りない点が多くありました。
- 3

돕노라고 나선 일이 오히려 방해가 되었다.
手伝うつもりで乗り出したことが、かえって邪魔になりました。
- 4

쓰노라고 쓴 글이 이 모양입니다.
書いたつもり of 文章が、この有り様です。
- 5

직접 만드노라고 애썼지만 시간이 모자랐다.
自分で作ろうと努めましたが、時間が足りませんでした。
- 6

아끼노라고 아꼈는데도 살림은 늘 빠듯했다.
節約したつもりで節約したのに、暮らしはいつも余裕がありませんでした。

■ 紛らわしいもの

-답시고
他人への皮肉です。노라고 は自分の謙遜で、向きが正反対です。
한답시고（他人を批判） / 하노라고（自分を謙遜）

-느라고
「するのに時間を使って」という理由です。노라고 は努力の不足を認めます。
하느라고 못 갔어요（理由） / 하노라고 했는데（謙遜）

나름대로
「自分なりに」で日常的です。노라고 は文語の謙遜です。
나름대로 했어요.（日常） / 하노라고 했습니다.（文語）

■ まちがえやすい点

- ✕ 친구가 하노라고 했어요.

○ 친구가 나름대로 했대요.

一人称に限ります。
- ✕ 하노라고 잘했어요.

○ 하노라고 했는데 부족했어요.

後ろには不十分な結果を置きます。
- ✕ 친구야, 하노라고 했어.

○ 친구야, 나를 열심히 했어.

日常会話では使いません。